

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	化学
科目基礎情報						
科目番号	1K001			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科			対象学年	1	
開設期	前期			週時間数	4	
教科書/教材	教科書：化学基礎：数研出版，問題集：インプレス化学基礎ノート：浜島書店，問題集：セミナー化学基礎：第一学習社					
担当教員	出口 米和					
到達目標						
1. 原子の構造および電子配置と周期律の関係を理解できる。 2. さまざまな化学結合について仕組みと性質を理解できる。 3. 物質量（モル）の概念を理解し、これを用いて実用的な計算ができる。 4. 酸塩基反応や酸化還元反応の基本的な考え方や法則を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	原子の構造および電子配置と周期律の関係を十分に説明出来る		原子の構造および電子配置と周期律の関係を説明できる。		原子の構造および電子配置と周期律の関係を説明できない。	
評価項目2	さまざまな化学結合について仕組みと性質を十分に説明出来る		さまざまな化学結合について仕組みと性質を説明できる。		さまざまな化学結合について仕組みと性質を説明出来ない。	
評価項目3	物質量（モル）の概念を理解し、これを用いてた応用問題を解くことができる		物質量（モル）の概念を理解し、これを用いた基礎問題を解くことができる。		物質量（モル）の概念を理解し、これを用いた基礎的な問題を解くことができない。	
評価項目4	酸塩基や酸化還元概念を理解し、これを用いた応用問題を解くことができる		酸塩基や酸化還元概念を理解し、これを用いた基礎問題を解くことができる		酸塩基や酸化還元概念を理解できず、これを用いた基礎問題を解くことができない	
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程 B-1						
教育方法等						
概要	化学的な知識や考え方を身につけ、自然科学的なものの見方を学ぶ。また化学の知識や考え方を、日常生活や社会、それぞれの専門分野の学習に関連づけて考えられるようにする。					
授業の進め方・方法	座学					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	物質の構成：純物質と混合物 物質の構成：物質とその成分		純物質、混合物を理解できる 混合物の分離法について理解できる 単体、化合物を理解できる 元素、同素体を理解できる	
		2週	物質の構成：物質の三態と熱運動		物質の三態と状態間の変化を理解できる 粒子の熱運動が理解でき、絶対温度を計算できる	
		3週	物質の構成粒子：原子とその構造		原子の構造を理解でき、同位体および放射性同位体について理解できる 原子の電子配置を理解できる	
		4週	物質の構成粒子：イオン 物質の構成粒子：周期表		イオンの生成について理解できる 代表的なイオンをイオン式でかける 元素の周期表を理解できる	
		5週	粒子の結合：イオン結合とイオン結晶 粒子の結合：共有結合と分子		イオン結合について理解できる イオン結晶の特徴を理解できる 共有結合と分子の形成について理解できる	
		6週	粒子の結合：配位結合、分子間に働く力 粒子の結合：高分子化合物、共有結合の結晶		電気陰性度と分子の極性について理解できる 高分子化合物について理解できる 共有結合の結晶の特徴を理解できる	
		7週	化学結合：金属結合と金属結晶		金属結合について理解できる 金属結晶の特徴を理解できる	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	物質量と化学反応式：原子量・分子量・式量 物質量と化学反応式：物質量 物質量と化学反応式：溶液の濃度		原子の相対質量について理解できる 原子量について理解でき、分子量や式量を計算できる アボガドロ数と物質量の関係が理解できる 物質の質量や粒子数と物質量の関係を理解できる 気体の体積の物質量の関係を理解できる 質量パーセント濃度とモル濃度を理解でき、計算できる	
		10週	物質量と化学反応式：化学反応式と物質量		化学反応式を正しく書き表せる 化学反応式の表す量的関係を理解でき、計算できる	
		11週	酸と塩基の反応：酸と塩基 酸と塩基の反応：水素イオン濃度とpH		酸と塩基の性質を理解できる 酸と塩基の定義を理解できる 酸の強弱を理解できる 水素イオン濃度とpHについて理解でき、計算できる	
		12週	酸と塩基の反応：中和反応と塩 酸と塩基の反応：中和滴定		中和反応について理解できる 簡単な中和滴定の計算ができる	

		13週	酸化還元反応：酸化剤と還元剤	酸化剤と還元剤について理解できる 電子の授受と酸化還元反応について理解できる
		14週	酸化還元反応：金属の酸化還元反応、酸化還元反応の利用	金属のイオン化傾向について理解できる 金属の反応性について理解できる
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0